



H28年度検討の概要

- 本検討は、「香川地域継続検討協議会」(会長：香川大学危機管理先端教育研究センター長)と連携し、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定に対して、地域が連携した「水災害に適応した強靱な社会作り」に向けた検討を、平成25年度から継続して検討しています。
- 一方、平成28年6月に「土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立し、平成28年8月に「土器川の減災に係る取組方針」をとりまとめ、住民目線を反映した各取り組みを着実に実行していくこととしています。
- 平成28年度は、昨年度に引き続き「アクションプラン」や「住民タイムライン」の検討を行い、とりまとめます。
- そのため、土器川沿川のモデル地区を対象に、地域住民の考える防災行動等に関する意見交換・意見集約の場として、地域住民参加型のワークショップを開催します。

ワークショップの概要

◆H28年度のワークショップの位置付け

- 大規模水害発生後の“地域の生き残り計画”について、“住民目線”で議論する先進的な取り組みです。
- “上下流の地域が一体”の広域的な取り組みを進める中で、土器川沿川のモデル地区を対象とした検討です(ワークショップは全2回開催します)。

◆ワークショップのわらい

- 土器川流域住民意見を「土器川の減災に係る取組方針」に反映し、“水害に強いまちづくり”を着実に実行していきます。

H28ワークショップ等に関する詳しい情報はこちら・・・

平成25年度からの取り組みや本検討の詳しい内容、ワークショップの開催告知・報告などの情報は、以下のアドレスから閲覧することができます。



香川河川国道事務所ホームページの左のパナーからも閲覧できます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosuigai/index.html>

● 香川地域継続検討協議会

- ・メンバー 香川大学、国地方支分部局、香川県、高松市、坂出市、経済団体、インフラ各社等
- ・設立：平成24年5月31日

◇土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

◇同上 幹事会

- 「土器川の減災に係る取組方針」の策定とフォローアップ
- ・メンバー 丸亀市、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町、香川県、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所
 - ・アドバイザー 香川大学危機管理先端教育研究センター



● 水害に強いまちづくり検討会

- ・メンバー 香川大学危機管理先端教育研究センター、香川県(危機管理課、中議土木事務所)、丸亀市、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町、香川県防災士会、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所

↑ モデル地区における地域住民を対象とした情報共有・意見集約

★ 水害に強いまちづくりワークショップ (WS)

- ・メンバー 土器川下流部右岸(丸亀市土器町)の地域住民、香川大学危機管理先端教育研究センター、香川県(危機管理課、中議土木事務所)、丸亀市、香川県防災士会、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所

～ 水害に強いまちづくりワークショップの流れ ～

H28年度	情報の共有	意見出しのテーマ
第4回 WS 11月23日実施	モデル地区における複合災害(堤防決壊、土砂災害、内水を想定) 防災関係機関による緊急活動内容	堤防決壊後の水害発生時における住民目線による時間軸に 応じた防災行動を考える (いつ、誰が、何をするか)
第5回 WS 1月15日実施	応急対策期の住民タイムライン(たたき台)の提示 (第4回WS意見の反映)	防災行動の課題・重点対策を考える (住民タイムラインに従って行動すれば、応急対策がスムーズにできるか)



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>
〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL: 087-821-1619 (工務第一課直通) FAX: 087-821-1713



「土器川における水害に強いまちづくり検討」、「ワークショップ」に関するお問い合わせは・・・

「第5回水害に強いまちづくりワークショップ」を開催しました

- 平成29年1月15日（日）に土器川下流部右岸モデル地区（丸亀市土器町）の地域住民等約30名が集まり、「第5回水害に強いまちづくりワークショップ」を丸亀市民会館（中ホール）にて開催しました。
- 第5回ワークショップ開催の様子や検討内容等について、ご報告します。

第5回ワークショップの内容

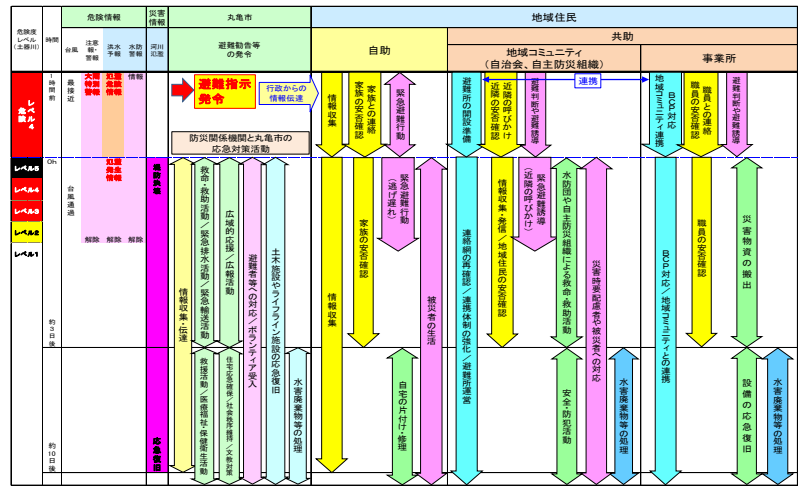
◆第5回ワークショップ検討のテーマ

- 第4回ワークショップ意見より作成した『**応急対策期の住民タイムライン（素案）**』について、地域住民や地域による「**防災行動**」を再度考えてみました。
- タイムラインに従った共助の防災行動を実行するための論点について、3つのテーブル毎に「**共助の重点対策**」を展開するための**具体的な取り組み内容**を検討しました。

【検討-1】

“**地域防災力の向上と災害時の地域機能継続**”を意識した**防災行動**をもう一度、考えてみました

- ◆ 堤防決壊後の**応急対策期**の時間軸に沿った自助・共助の**防災行動のタイムライン**について、「**防災行動の項目や時間軸が適切か**」、「**記述内容の修正や追加があるか**」などの意見を出し合いました。



緊急対策期の住民タイムライン（素案）

【検討-2】

共助による**具体的な取り組み**を検討しました

- ◆ 地域コミュニティにおける**防災行動の実効性を確保**するため、第4回ワークショップの意見で得られた**重点対策3項目**について、共助として具体的に**取り組む内容（アイデア）**の意見を出し合いました。

重点対策3項目 （共助による取り組みが必要な3項目）	テーブル
地域コミュニティにおける横の連携体制（連絡体制）を強化するためには	1
地域連携（防災関係機関、地域コミュニティ）による情報共有の仕組みを作るためには	2
災害時要配慮者との横の連携体制（支援体制）を強化するためには	3



検討の様子

防災行動を行うためにはどんな対策（アイデア）があるか、意見カードに記入し整理しました。



検討の様子

◆第5回ワークショップを実施して…

- ◆ “地域防災力の向上と災害時の地域機能継続”を意識した**防災行動**を具体的に考える中で、数多くの意見が出されました。
 <例えば>
 【タイムライン】地域連携・連絡体制の強化／避難所運営訓練が必要 etc
 【重点対策】地域コミュニティの体制連携／防災訓練や体験／イベントの活用／助け合い仕組みづくり etc



テーブル発表の様子

参加者の意見について、各テーブルの代表者が発表し、意見を共有しました。

住民意見は、「住民タイムライン」「アクションプラン」へ反映し、「水害に強いまちづくり検討会」へ報告します。平成27年度からのワークショップは、平成28年度で終了いたします。ワークショップの参加および貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。